

**公益財団法人 日本バレーボール協会**  
**第3期(2012 年度)運営基本方針(案)**  
(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

本会は、わが国におけるバレーボール界を統轄し代表する団体として、バレーボール競技の普及及び振興を図り、もって児童・青少年の健全な育成と国民の心身の健全な発達に寄与し、また豊かな人間性を涵養する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

近年のわが国におけるバレーボール界は、国際化、情報化、少子高齢化の進展などにより、急激な変革が生じている。また、世界に目を向けるとグローバル化、ボーダレス化が顕著であり、これまで以上にバレーボール先進国に対する世界的な期待が高まっている。

こうした中で、本年は5～6月に開催されるロンドンオリンピックアジア予選兼世界最終予選で男女のバレーボールとビーチバレーで出場権を獲得し、本大会でメダル獲得を目指す。同時に今期よりスタートさせる新中期的強化体制を推進し、バレーボール競技人口の底辺拡大による基盤強化を行い、わが国のバレーボール界統轄組織として広い視野でナショナルチームの強化、競技の普及・振興を行うことで、国際的にも国内的にも高いポジションを維持する。

また、今後さらに国際バレーボール連盟との緊密な連携を図り、世界のバレーボール先進国として各種事業を効果的に推進する。

# 平成24年度 JVA国内事業本部 審判規則委員会 運営基本方針

平成24年度審判規則委員会の運営基本方針を以下の6項目とする。

- 1 次世代を担う審判員を発掘し、高い技術力を持ったA級審判員を育成する。
- 2 男女共同参画をさらに推進し、女性審判員の活動を支援すると共に、審判技術の向上を図る。
- 3 ビーチバレーの国民体育大会正式種目採用に向けて、ビーチバレー審判員の育成を図る。
- 4 2012年度国内で開催される国際大会及び国内トップ競技会における、スコアラー・アシスタントスコアラー・ラインジャッジの質的向上を図る。
- 5 メンタル面の強化を図り、毅然とした態度で公正かつ手際良い判定ができる審判員を育成する。
- 6 科学研究委員会情報処理部と連携し技術統計判定員のスキルアップを図り、客観的な判定にもとづく正確なデータの作成を目指す。

---

指導部：審判技術レベルに応じた適切な講習会・研修会を開催する。

- (1) 若い年代の審判員を発掘し育成する。
- (2) 熟練審判員のブラッシュアップを含めたスキルアップ事業を推進する。

規則部：各年代層・各種別に応じたルールの研究を進め、分かりやすいルールブックの作成をめざす。

登録部：JVAメンバー制度(MRS)に従って、公認審判員のMRS登録の増加を図る。  
B級審判員・C級審判員の資格取得者の人数を把握する。

# 各種ルールの改正点・修正点について

## 1 6人制改正点・修正点

### 【改正点】

- (1) アクティングリベロが入れ替わることができるのは、もともと入れ替わっていた選手またはセカンドリベロのみである。監督はラリーが完了したときは、理由を問われることなく、試合中いつでも、アクティングリベロとセカンドリベロを入れ替えることができる。(規則 19.3.2.2)

### 【修正点】

- (1) 読みやすくするために単語訳・表現を見直した。
- (2) FIVB ルールブックの記述にならい条・項をなくし、大きな項目には英語表記を ( ) で併記した。
- (3) 「アタック・ライン」等の「・」を削除して、「アタックライン」等の表記に統一した。
- (4) フォルトとペナルティを明確にするために FAULT を反則に、PRNALTY をペナルティと表記した。
- (5) 漢数字をできるだけ使用せず、洋数字で表記し、視覚的に理解しやすいようにした。
- (6) リベロプレーヤーについては“リベロ”に変更し、「コート上のリベロ」と「控えのリベロ」については“アクティングリベロ”と“セカンドリベロ”と表記した。

## 2 9人制改正点・修正点

- (1) 競技者のユニフォームの番号の大きさについて、胸部の高さ「10cm 以上」を「15cm 以上」に、背部の高さ「15cm 以上」を「20cm 以上」に改めた。なお、小学生、中学生については従来通りの大きさとし、「特別競技規則」にその規定を加えた。
- (2) 正規の競技者交代の回数について、「1セットに3回」を「1セットに4回」に改め、これに伴い次の関連規定を整備した。
- ① 副審の責務で、試合中主審に報告する競技者交代の回数について「3回目」を「3回目、4回目」に改めた。
  - ② 公式記録用紙について、競技者番号欄に交代競技者番号等の記入欄を増やすとともに、公式記録記入法の規定を改めた。
- (3) その他字句を修正した。

## 3 ソフト・バレー改正点・修正点

- (1) 相手方のサービスしたボールを、ネット上端より完全に高い位置からアタック・ヒットして、それが完了したとき。また、「ファミリーの部」でバックに位置した大人の競技者が、ネット上端より完全に高い位置からアタック・ヒットして、それが完了したとき。

2011年度ルールブックにおいて、下線部の文言が脱落していたので2012年度版にて挿入して修正した。

- (2) 字句の修正

#### 4 ビーチ・バレー改正点・修正点

- (1) 読みやすくするために単語訳・表現を見直した。
- (2) FIVB ルールブックの記述にならない条・項をなくし、大きな項目には英語表記を（ ）で併記した。
- (3) 「サービス・ゾーン」等の「・」を削除して、「サービスゾーン」等の表記に統一した。
- (4) フォルトとペナルティを明確にするために FAULT を反則に、PRNALTY をペナルティと表記した。
- (5) 漢数字をできるだけ使用せず、洋数字で表記し、視覚的に理解しやすいようにした。